



PPG ジャパン、日本パウダーコーティング協同組合に入会

【東京、2004年10月1日】

総合塗料メーカーPPG ジャパン・工業用塗料部は1日、日本パウダーコーティング協同組合（通称：JAPCA）に賛助会員として入会することを発表した。

「当社の環境対応型粉体塗料各種を日本パウダーコーティング協同組合の組合員様をはじめ広く塗料ユーザー様にもご紹介していきたいと思っております。北米のVOC規制に適合した粉体塗料は日本市場でもニーズがあるはずで、また、北米の塗装技術、市場及び動向について情報交換できることを期待しております」 こう語るのは、PPG ジャパン・工業用塗料部マーケティングマネージャー日本担当のジュリアン・M・ベイショア。

PPGの粉体塗料のラインアップは幅広く、汎用品から「ジンクリッチエポキシ系」「メタリックボンディングタイプ」「模様塗料」「低発泡性タイプ」「アクリル系高耐候性タイプ」などの特殊・機能商品までを取り揃えている。実績としては、配電盤、アルミホイール、ガスシリンダー、白物家電などがあり、また1999年に世界発の自動車ボディ用粉体クリヤーを商品化し、大手自動車メーカーBMWに採用されている。本年夏には超低温硬化粉体(110℃)も商品化している。

日本パウダーコーティング協同組合（東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル）は平成8年に設立され、その前身は日本粉体塗装工業会（昭和58年設立）。“粉体塗装”に特化した日本で唯一の政府（経産省）認可団体で現在の会員数は105社を数える。その活動目的に「組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図る」を掲げている。

今回の入会について JAPCA 専務理事の鈴木伸行氏は、「PPG ジャパン(株)殿が当組合の賛助会員として加入されたことを心から歓迎いたします。JAPCAは塗装専門家、塗装機器・設備メーカー、塗料メーカー及びこれらの販売会社が主たる構成員で、会員一同環境対応塗装の代表であるパウダーコーティングの普及に努めています。特に本年5月に成立した改正大気汚染防止法はVOC発生量を2010年までに2000年比30%削減することにしており、今後脱溶剤塗料へのシフトが加速されるものと期待しております。PPG 殿が環境先進国の北米事情を含む新たな視点から積極的に情報発信をされ、組合の活性化に寄与されることを心から期待しております」と述べている。

米・ピッツバーグに本社を置くPPGは、世界でトップクラスの自動車用塗料メーカーであり、工業用塗料、容器用コーティング剤のグローバルサプライヤー。また、北米で有数の建築用塗料メーカーでもある。さらに、PPGは板ガラス、加工ガラス、ガラス繊維(連続ストランド)、化学品も生産している。2003年の売上高は88億米ドル(約9,680億円)。

お問い合わせ先:

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-15-1

渋谷クロスタワー13階

PPGジャパン(株)

工業用塗料部

TEL 03-3476-7015

FAX 03-5778-2557

大阪営業所: 06-6376-3161

E-mail: sales_japan@ppg.com

ホームページ: <http://corporate.ppg.com/PPG/SBU/IndustrialCoatings/Japan>